

コロナ禍の今こそ ハードではなくハートのバリアフリーを

仙台の企業が東北初開催 ユニバーサルマナー検定講座 体験説明会

仙台市産業振興事業団では、令和2年度働き方改革促進ビジネス開発委託事業として、SDGsビジネス研究所(仙台市)による事業を支援してまいりました。コロナ禍でリモートワークや働き方改革の機運が高まる中、障がい者や高齢者、外国人など多様な方への理解と適切なサポート方法が求められています。何卒ご取材のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

ユニバーサルマナー検定講座 体験説明会

ユニバーサルマナーの普及・啓発を行う仙台の企業が、東北で初めてのユニバーサルマナー検定講座体験説明会を開催します。詳細は別紙を参照ください。

日時 2020年11月27日(金) 午前の部 10:00~11:30 午後の部 13:00~14:30

会場 仙台市産業振興事業団 会議室A (仙台市青葉区中央1-3-1 AER7階)

内容 ユニバーサルマナーの概要、学び身につけることのメリット、企業導入事例

コロナ禍の今こそ求められる、ハートのバリアフリー

Point
1

バリアフリー法の改正により、施設のハード面の整備が進みましたが、ソフト面でのバリアはまだ解消されていません。現在日本には高齢者約30%、障がい者約7.5%、3歳未満の幼児は約3%と、多くの人がユニバーサルマナーを求めています。また、コロナ禍の自粛ムードや高コストの施設整備は、中小企業におけるハード面のバリアフリー化をさらに難しくしています。コロナ禍の今こそ、ユニバーサルマナーを学びソフト面のバリアを取り除き、ハートのバリアフリーを推し進めるチャンスです。



Point
2

ダイバーシティ経営の推進

2021年3月より、障がい者法定雇用率が0.1%引き上げられ、今後、企業は多様な人材の能力を発揮できる環境を整備する必要性がより大きくなります。多様な人材を理解し、能力を引き出す一助となるユニバーサルマナーを学ぶことで、イノベーションを生み出す人材の育成促進と、ダイバーシティ経営を社内に浸透させることにつながります。

Point
3

バリアをバリューに変える新しい働き方

ユニバーサルマナー検定の講師は、地域の障がい当事者です。障がいがあることにより長時間の就業や長距離の移動、兼業・副業も難しいのが現状です。ユニバーサルマナー講師としての短時間の就業スタイルは、身体の負担を押さえながら柔軟な働き方を実現でき、また、障がいを強みに変え、収入を得ることで障がい当事者の励みとなります。また、当事者だからこそその経験にもとづいた講義は、ユニバーサルマナーを学ぶ人にとって強いメッセージにもなります。



佐藤 隆雄 氏

仙台の中小企業にこそ、ユニバーサルマナーを知ってほしい

主催元の佐藤代表は、重度身体障がい者福祉施設の職員を経て、仙台に福祉用具会社を設立。2019年4月、障がいのある人もない人も等しく素敵な人生を送ることができる社会づくりを理念として、SDGsビジネス研究所を設立しました。現在は、ユニバーサルマナーの普及・啓発、講師の育成をはじめ、障がい者雇用事業や障がい者スポーツ啓発事業など、多様な人にやさしい社会をつくることに精力的に取り組んでいます。バリアフリーのハード面の整備は資金面でも中小企業にとっては難しい、だからこそ、仙台の中小企業にハードではなくハートのバリアフリーに取り組んでほしい、という思いが込められています。

●働き方改革促進ビジネス開発委託事業について

(公財)仙台市産業振興事業団では、多様な人材、多様な働き方、兼業・副業などさまざまな切り口から働き方改革ビジネスに取り組む地域の企業をサポートしています。委託料として資金面で支援するほか、開発への助言、販路開拓、プロモーションの支援も行っていきます。

お問い合わせ先

ビジネス支援に関するお問い合わせ

公益財団法人仙台市産業振興事業団
経営支援部 人材確保支援課 名古屋、安田

〒980-6107 仙台市青葉区中央1-3-1AER 7F

☎022-724-1116 ✉ koyoushien@siip.city.sendai.jp

体験説明会、その他ご取材についてのお問い合わせ

SDGsビジネス研究所

主任研究員 松原 利江子

〒981-0962 仙台市青葉区水の森3-24-1

仙台フィンランド健康福祉センター内

☎090-7188-2502 ✉ rieko.matsubara11@gmail.com